第235号　1909. 10. 10.

明治四十二年十二月三日第三種郵便物認可　（日刊）日曜及祭日の翌日休刊　明治四十二年十月十日（日曜日）　第二百卅五號（一）

京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐべからず

●破怨獨語

放浪生

▲浪人的政客　統監府設置以前に於ては、政客とも就かず、浪人とも就かぬ、何事か企てんとする不穏の人物出没したるも、今其姿影だも止めず、是れ統監政治行渡りて彼等が活動の餘地なきに至れる爲か、鶴原君の所謂浪人放逐策の勵行せられたるが爲なるか、浪人策士の放逐は韓國開發の爲に果して利なるや否は余の知る所に非ず、然れども窮氣ある浪人の存在せざるに至りて多少寂寞の感なからず、されど〳〵余は敢て浪人優遇を唱道するものに非ず、唯在留邦人に昔日の活氣なきを慨とするのみ。

▲昔日の浪人　今何くにある、余が去る三十八年に渡韓したるときには、最早眞の浪人なるもの甚だ稀也き、其歳仁川の桑野氏方にて、福井三郎、立川雲平、鈴木萬次郎君等に會す、然れども皆既に眞の浪人に非ず、福井、立川は代議士、鈴萬は保險屋にして、昔日の政治浪人に非ず、然れども當時は尚統監府なし、爲に尚彼等の腕を要する事もありき、爾來統監府設けられて、統監政治の普及と共に漸次此等政客連の活動の餘地なきに至ると共に其跡を絶つに至る斯の如くして眞の浪人は滿洲、蒙古に入り、所謂政客連は祖國に蟄伏す。

▲立川雲平　は屠場事件にて今や怪怨の呻吟しつゝあり、福井三郎は進歩黨改革派の陣笠として一時多少の勢力ありしも、彼の慧獪にして政功を急ぐの餘り、終に政友會に馳せ參じて亦同會の陣笠となる、鈴木萬次郎不相變保險屋に從事し居るものゝ如し、人の一生を顧れば眞に變轉多し、而も宿志の蹉跌し易き、眞に成功の人は百中の一のみ、嗟呼人は斯くして漸次墓場に達するものか。

▲福井と立川　福井は慧敏輕薄なるが如く其實却て敏と薄とを缺く、之が爲に彼は往々失敗す、彼は成功を急ぐ從て敏活に動く、輕薄なるが如くして其中一片穆々たる氣骨あり、之が爲に處世に巧なるが如くして却て處世に拙也、彼が常に窮乏するは之が爲也、要するに彼は相當に奇才を有するも膽力餘りに小なるが爲に總てに於て成功せざる也、立川は一見魯鈍なるが如きも其實慧敏福井に優る、福井程の奇才逃避せざるも其膽力は福井よりも大也政黨員として彼が割合に地歩を占めつゝあるは之が爲ならんか。

▲立川は一見　敢賄杯すまじき如く見らるに反して福井は一見收賄杯は平氣になすべく見らる、其實福井は小膽なるが爲に斯る大それた事は容易になし得ず、之れ取りうなる福井が取らずして、取りそうなる立川が却て牢獄の人となる、是を以て見るも人は決して一見したるのみにては其眞價は知り難し。

▲閑話休題　浪人の去れるは統監政治の恩澤として喜ぶべきも、在留邦人の活氣なきに至れるは甚だ悲しびべき事ぞかし。

●大同江浚渫工事斷行

大同江島嶼洞附近に於る淺瀬浚渫工事は今回愈々斷行することゝなりたるが右に就き鎮南浦有賀稅關長は德廣技手を隨へ先日平壤に赴き實地につき視察する所あり其結果は神妙にして居られたが、勇氣勃々たる八郎爲朝、英氣の逝しる所なか〳〵落付いて居られず、まだ十三歳の少年といへど如何にも惡戯が烈しく、兄を悔り兎角に亂暴を働く夫れに藤原信西も内心に爲朝を憎み何時か機會があれば八郎を害さんと云ふ意あり、爲義は信西の事を深く心に恨み此虚汝を我家へ差置く時は、信西愈々我れを恨み、汝の身の上も危ければ兎も角明日筑紫の方へ參つて此奇禍を避けよ父に思ふ事あれば決して遠旅の支度を致せ爲「ハッ」と思つたが今更何うも仕方がない、自分が此家に居たならば如何なる事になる出ませんので、伴に連れて參られた須藤重季も大層心配をして藤原方々と道を探すも、袴の通ふ座さへない、其時彼方の乳母の子に當りまする須藤九郎重季と云木の下に二頭の狼が居りまして、何やらん宜からうと、其夜の内に支度を整へ、自分れども、袴の通ふ座さへない、其時彼方の乳母の子に當りまする須藤九郎重季と云木の下に二頭の狼が居りまして、何やらんへる者唯一人召連れ、涙ながら父上や御兄肉を爭つて互に血だらけになり、敗けず劣らず噛合つて居る、爲朝之れを見て大に感弟に別れを告げ、都を立出で九州へと志し豐後國に尾張權頭季遠と云へる源家に由緒ある者の家へ父の書面を以て尋ねて參つた彼の狼が一片の肉を爭ひ血塗れとなつて鬪季遠は喜び、重季に向はれ「ヤヨ重季、アレ見よ、汝年若くしていまだ世の中の味も知らず、人間は唯正直眞法で世を送れるものでない、只來は決して自信してはならぬ、早られた、スルと威口の事、木綿山と云へる山奥深く進まれましたので、往けども〳〵人家ある所へ出ませんので、伴に連れて參られた須藤重季も大層心配をして藤原方々と道を探すも、袴の通ふ座さへない、其時彼方の乳母の子に當りまする須藤九郎重季と云木の下に二頭の狼が居りまして、何やらん宜からうと、其夜の内に支度を整へ、自分れども、袴の通ふ座さへない、其時彼方の乳母の子に當りまする須藤九郎重季と云木の下に二頭の狼が居りまして、何やらんへる者唯一人召連れ、涙ながら父上や御兄肉を爭つて互に血だらけになり、敗けず劣らず噛合つて居る、爲朝之れを見て大に感弟に別れを告げ、都を立出で九州へと志し豐後國に尾張權頭季遠と云へる源家に由緒ある者の家へ父の書面を以て尋ねて參つた彼の狼が一片の肉を爭ひ血塗れとなつて鬪季遠は喜び、重季に向はれ「ヤヨ重季、アレ見よ、汝年若くしていまだ世の中の味も知らず、人間は唯正直眞法で世を送れるものでない、只來は決して自信してはならぬ、早られた、スルと威口の事、木綿山と云へる山奥深く進まれましたので、往けども〳〵人家ある所へ出ませんので、伴に連れて參られた須藤重季も大層心配をして藤原方々と道を探すも、袴の通ふ座さへない、其時彼方の乳母の子に當りまする須藤九郎重季と云木の下に二頭の狼が居りまして、何やらん

第四席　伯山改　神田松鯉口演

爲「父上の仰せ誠に御尤には候へ共、彼の信西と云へる奴、多少學才はあらんなれど、武藝の事何で知り候へき、又彼は頗るの侯人にして已れ君寵を詐つて、隨分暴横の行爲をなす、斯樣なものは數々懲しめてやつたが宜いのでござる義「汝小賢しく彼是と申せども、侯人なればこそ猶更彼れに逆かへる者唯一人召連れ、涙ながら父上や御兄肉を爭つて互に血だらけになり、敗けず劣らず噛合つて居る、爲朝之れを見て大に感弟に別れを告げ、都を立出で九州へと志し豐後國に尾張權頭季遠と云へる源家に由緒ある者の家へ父の書面を以て尋ねて參つた彼の狼が一片の肉を爭ひ血塗れとなつて鬪季遠は喜び、重季に向はれ「ヤヨ重季、アレ見よ、汝年若くしていまだ世の中の味も知らず、人間は唯正直眞法で世を送れるものでない、只來は決して自信してはならぬ、早られた、スルと威口の事、木綿山と云へる山奥深く進まれましたので、往けども〳〵人家ある所へ出ませんので、伴に連れて參られた須藤重季も大層心配をして藤原方々と道を探すも、袴の通ふ座さへない、其時彼方の乳母の子に當りまする須藤九郎重季と云木の下に二頭の狼が居りまして、何やらん

割烹界の福音　味の素

「味の素」は調味料として、和洋料理には勿論、一般の家庭に是非缺ぐべからざるもの、旅行の時などに携帯せられたならば、如何なる遠隔な土地でも、食物の不味きを訴ふることはありません、その上醬油や昆布の樣に色々嵩加減の手數も入らず、唯これに克く即座に忌れる事の出來ないうまい飲食物を調理するには「味の素」の外にはありません。一瓶金四十五錢、他地方は引替小包にて送ります

韓國特約店　麻米雜貨　洋酒食料品　洋紙帛類　金銀器美術品　直輸入商　京城本町二丁目　電話三番　辻屋　本店電話一四八番　支店電話三六六番

猟期來れり　新着獵銃各種　冬物敷類　洋家具　仁川港本町一丁目　藤木利右衛門　電話四十番

京城南大門通り　藤木商店　電話五百八十三番

歯科治療　女子見習生募集委細面談　本町六丁目　ドクトル中村安子（敷もば横町）

時節柄敷物及夜具等新調仕り室内の設備も相整申候御客樣に對しては叮嚀親切、を旨とし調理の義は從來よりも一層勉強可仕候間倍舊の御引立奉願候

京城南山町四丁目　原金旅館　（電話長一〇七番）

京城西小門通六番戸　入院隨意　菅醫院　電話九六〇番　診察時間　自午前時至午後七時　毎月十五日休業　本町二丁目　中村耳鼻咽喉眼科醫院　院主　醫學得業士中村健吉

最良油　龍

京城本町二丁目　入院隨意　内外科　小兒病　梅毒淋病　高井醫院　電話（二一六）　院長　陸軍軍醫正　高井貞治

京城本町一丁目（電話千五十番）　增本好三郎事務所

左の各項を兼備せる事務員貳名を傭聘す

一年齢十八歳以上三十歳以下なること

一法律の素養を有し且訴訟事務に多少經驗あること

一健筆なること

一志操堅固なること

一六ケ月以上勤續を誓約すること

一京龍間に於て確實なる身元保證人あること

一志望者は自筆の履歴書携帶至急來所せらるべし

事務員傭聘廣告

一粉塊炭　宜營平壤無煙炭特約一手販賣　弊店濟營嘱に付　同上　金九圓九十錢　金七圓九十五錢　但入梓込費代は別に申受候　平壤炭は煤煙皆無にて火力及び持久力に富み至極經濟的なる燃料なり　京城南大門外右市町二丁目（電話九四一番）　中部鐘路通一丁目（電話二三八番）　西小門外獨立門通り　龍山代理店（電話一五六番）　苦米地造酒彌　中部出張所　西部出張所　保高德松　市内各所に取次店有之候に付御便宜の場所へ御申込被下度　御注文の節は必ず平壤無煙炭と御申込願上候

美術半衿帶上帶締其他紐類各種
京城明治町一丁目 金ゑり德商店

京城新報

伊藤公の外遊

伊藤公には豫て報せられし如く、來る十四日大磯出發、十六日馬關に於て艦船丸に搭乘し渡滿せらるべく其旅程は約一ヶ月の豫定なりと云ふ、而して旅行地は何れより何れ迄なるかの詳報に接せずと雖も、傳ふる所に依れば滿州及西比利亞を視察せらるべしと、時恰も寒冷の季に向ふの時北方沍寒の地を遨遊せられんとする公の元氣旺盛は殆に喜ぶべき事なりとす、元老中其雄健を誇りしものも今や漸次凋落して、多くは別莊に龍りて靜に老を養ふに過ぎず獨り公のみ精力攝んでて、古稀の高齢を以て南船北馬席暖なるの暇なきの觀あり、此一事のみを以てするも公は確かに明治の一偉人となすに足る。

公が政治家として諸元老中特に一頭地を抜ける所以は、素より其學識才能の然らしむる所なれども、其体軀の健全にして精力の過絶せるが爲ならずんばあらず、健全なる思慮は健全なる体軀に宿るの金言は公によりて能く其宇宙を現實せられたりと云ふべき也、余輩は公の主義政策には全然贊同する能はざるも、公の精力過絶にして終始一貫帝國の爲に盡されたる誠心に對しては無上の敬意を拂ふに躊躇せざる也、公や後介の匹夫時代より種々なる辛酸を嘗めて大政維新の皇謨に翼贊献替し、終に位人臣を極むるに至りし迄には眞に言ふべからざるの苦心ありしならむ、尋常平凡のものならば其位置に驕り放縱に流れて、老後を空しく經過せんも、公の誠意と功名心とは能く之を攝して鶴迄帝國の柱石として奔盡す、余輩は公の施設したることが盡く良績を擧げ得さりしとするも、國家を思ふの深き觀念に對しては眞に敬服せざるを得ざる也。

公が韓國統監として三年有餘に亘りて施設したる所のものに對しては、決して嘆美に價するものの少しと雖も、統治の大綱に於て其範を垂れて後進曾禰子に其任を讓られしは全く機宜に適せるの所置と云はざるの可らず、而して今回滿洲及西比利亞を視察せらるゝは必ずや帝國の對大陸策に對して貢献する所あらんが爲ならむ、余輩は公の視察によりて希くは大陸政策に一歩を進めんことを望むものの也、韓國の事は幸に公の聲望と手腕によりて稍々緒に就き、韓人自ら日韓合同を唱るに至り、公の所謂一家說は將さに現實せられんとするの機運に向ふ此上は滿洲に於ける帝國の立場を鞏固にする必要あり、世人は頻に滿韓經營を口にするも滿洲の經營を如何にして完ふすべきかに就きては未だ確たる方針なし、炬火の如き伊藤公の眼光は必ずや之に向て解決を與るに至らんか、徒に歡待優遇に忙殺せられて日も亦足らざるが如きは公が旅行の目的に非ず、余輩は公の視察により大陸策に一轉進を見ひてとを深く期待せんとする者也

東京電報

▲統監上京の用向

曾禰統監の近々部下を從へ上京すべしとの說に對し內閣及び統監府出張所高級吏員の談を聞くに右は事實未定にして例令上京するも病氣療養の爲には非ず統監就任後韓國鐵道計畫の第一着手として來年度豫算に湖南京元の二線路布設の要求をなしあり、しが其後滿洲歷案の解釋に伴ひ新に吉會線敷設の權利を獲得したれば三線同時に起工着手に就き財政上其餘地なしとせば何れを先にするかは閣議決定に至らず依て統監の上京は其餘勇尙ほ用ゆべきを示すと同時に同閣に付き力を盡す爲めなるべしといふ（八日着）

▲改正所得稅法

來期議會に提出すべき改正所得稅法案は諸種の點に於て改正を加へ第三種の個人所得は勤勞所得資產所得の二種に分ち勤勞所得に對しては八割を資產所得は全額を課稅額とし、其他現行法に依れば第三種の所得稅率は所得三百圓より十万圓に到る間に十二階級に分ちあるを改正案は二十六階級に別ち等差を明瞭にし公平を期したり其他大體に於て負擔の輕減を見る就中最も減額せらるゝは個人所得なりと（同上）

▲米界混亂と株式

東京米界の紛糾は株式市場に波及し諸株益々暴落し大玉を有せる買方仲買等は頻死の悲境に陷れり（同上）

▲無線電信協議會

陸海兩省の無線電信協議會は遞信省にて六日以來引續き開會し居れり（同上）

▲伊藤公の渡滿期

伊藤公爾は十四日出發大連に向ふ同地より南滿鐵道を經て西比利亞へ赴く筈（同上）

▲來年度豫算閣議

は十二日の閣議にて決定する筈なり（同上）

▲韓銀理事內定

韓國銀行理事は木村雄次、三島太郎兩氏の外水越利陽氏に內定せり（同上）

▲松辰廢業の結果

松辰廢業の結果增證據金の追納を遁れ解合によりて繫るべき自己の損失を取引所に嫁し終れり之が爲めに馬鹿を見たるは取引所主務省及賣方仲買なり是れ條文の不備に乘せる松辰の狡獪手段なりと（同上）

▲孟矩の上告棄却

高野孟矩は曩の判決に服せず上告せるも棄却せられたり

▲ウ校選手の歸國

ウイスコンシン大學派遣の野球團に來る十三日歸米の途に就く（同上）

▲全國兒童の就學割

本年八月末日に於ける全國兒童の就學割は百分の九十八强にして之を十年前の百分の六十、二十年前の百分の十八に比較すれば非常なる進歩なり（同上）

▲雨敬氏と取引所

雨敬氏の靈力に依り東京米穀取引所理事長は主務省より仲買人の除名申請書を撤回せり（九日）

▲水產判決言渡期

水產會社事件に關する公判終結二十三日判決申渡ある筈（同上）

▲從量稅換算困難

關稅改正案は全部調査濟み大藏省にては從量稅の換算に從事せるが物品の性質上換算し能はざるもの約八百種ありと（八日夜着）

▲六二律令見合せ

臺灣府令第六十三號延期案は本期議會に提出を見合はすべく決定せり（同上）

▲行幸地檢分出張

天皇陛下今秋東北大演習御統監の爲め十一月十日宇都宮地方行幸に就き諸設備下檢分をなすべく栗原宮內秘書官及小島大佐は十日同地方出張の筈なり（同上）

北京電報

▲張の死と列國

張之洞は直接外交に從はざりしを以て袁世凱免職當時の如くは列國を刺激せざりしも鐵道借款に關係ある四ヶ國は其影響を憂ひ居り我東亞興業の伸張にも多少の支障あらん

▲袁の出京を促す

張之洞死去の爲め慶親王は攝政王をして袁世凱の來京を促さしめたりとの說あり

▲袁とボイコット

袁世凱は廣東自治會一派の排日運動を禁ずべき嚴重なる取締法を講究し居れり

奉天電報

▲米資本家の目的

米國の對清シングート代表者ストヒート氏は總督、巡撫等と密議を凝らし北京に引返したるが其目的は日貨排斥反鬪し注意の爲なりといひ當地清國機關紙は鴨綠江、帽兒山買收運動の爲めなるが如しと報ず

紐育電報

▲ライドと飛行器

ライド兄弟は今后飛行器を觀覽せしひるを止め專ら商賣上の成効に力を用ゐることゝしたりと

▲ハ大學總長

ウイリアム、レベリー氏はエリオット教授の後を襲ひハーバート大學總長となりたるが氏の日本留學生を賞贊せる最近の演說は注目の價あり

▲米國の協約抗議

米國外務省は日清間に締結せし滿州協約に抗議すべく講究中なることは事實なりと（同上）

地方電報

▲忠州監獄の破獄

昨八日夜午后六時當地警察の囚徒二十八名破獄逃走せり（九日午前九時忠州發）

雜報

沿道政策の頓挫

氣込にして三南及京元線とも併置說を主張し尙東京へも委員を派遣し飽くまで運動を盡す日韓赤十字社の合同に對し左記の諸氏は其委員長

●新井時事記者歡迎會

官民有志八發起に係る新井時事新聞編輯長本紙に於ける三南線期成同盟會は其委員長

顧問　李完用
專務參事　伯爵　兒玉秀雄

同
同

●三南線期成委員運動

●蘭山桃山の建築工事

風紀取締上蘭山の各料亭を統山に移轉せし

●瓦斯管埋設と泥峴街

●韓銀株募入洩の通知

●度支部吏員と韓銀株

●龍山と水道會社

●倉富次官の歸京

●昨日の仁川集會一班

●局長會議々題

●韓米販路の前途

●混置倉庫の設立計畫

●統監の歸朝見合

●圖門江貿易計畫

●英國元帥來韓の時期

●市原盛宏氏等の叙勳

●京城基督教會日の出町

●長谷川町本願寺

●日本メソヂスト

●本日の說教

●三浦理事官開城行

●松本理事官入京

●廣田嘱託出張

●日本ペスト

●瓦斯停車場落成

●袁世凱

●蒙古

●張中堂

●冠婚葬祭

●慶南日報の發刊

●慶南日報の發刊

●慶南日報の發刊

東城新報 第二百卅五號 (三)
明治四十二年十月十日 (日曜日)
毎月(月曜及祭日毎日休刊)

▲EP品質精良且廉價にして御進物に最適當なる高尚優美の土耳古・埃及金口莫及葉巻各種(百本入七十五錢以上)大安賣卸 本町二丁目 小賣速に御來店御試み給へ 見本無代 輸入商 日希商會

●當世仁川寡婦氣質

▲慕參りよりは男巡り

二十寡婦は立つても三十寡婦は立たぬ俚諺もある世の中況してや此れは淫風吹き荒む韓國は仁川に在りてさらぬだに物思はるゝ秋の夜の長きに獨り寝の夢なりかねるを卿ち顔の寡婦さん方の素行の程を秘密ソッと調べて見たるに▲郡金三郎氏の未亡人は年が年だけに念佛三昧に味氣なき世を送りつゝあり△花町の光田のそれは不足のない年をして居ながら百まで雄鳥を忘れぬ雀の比喩か上川とか何とか云ふ優男を引き摺り込んで意茶附き居れるが元々上川は慾で掛つた仕事なれば先頃つて居るとは知る由緒もなき婆さんは時候が悪いと養生をした上にも養生をした甲斐ありてピン〳〵ものでこの分で行つたら五年や八年の間にはトテモないので青息吐息つく〳〵浮世が嫌になつたと悄氣返つて居るとは尤も千萬▲同町の若林のは御亭主の死亡後二ヶ月を經るに田原とやら云ふ惡性男と乳繰合つて居るとは鼻持もならず▲江口のは可愛い男が出來たと見へて此の頃は髪の結ひ樣までが變つて來たとの評判▲有馬のは流石に年が年として三度の飯は四度でも宜いが此の道ばかりは我慢がならぬと同宿の打木とやら云ふ稅關吏と逢ひ見ての後の心に較ぶれば昔しは物を思はざりけりの百人首取りよろしく相愛れの間となり昨今は殆んど公然夫婦氣取り目も鼻もなくして意茶付き居る樣は二目と見られた態にあらず▲見るとは聞くとは大違ひ何れも揃つて以上の姑木賞美の蔭で御亭主が嘸ぞや怨んで居ることなるべし幽靈となつて出ぬ間に少うしれ恨しみが肝要なるべしと仁川よりの通信

●新町第一樓支店のボヤ

▲原因は放火？

昨曉京城新町遊廓第一樓表樣下に時ならず黑煙朦々と立ち昇りしが家人の發見する所なるが石塚國官の宇佐川中將、吉原副將其他出席申込者多數なり盛會なるべし

コレラの流行つた節なぞは何うか婆さんが此れに罹つてグッと一思ひに死つで呉れしゝ宜いがと祈

●仁川沖溺死者身許判明

▲主人の金を遣込みて去る二日仁川沖八尾島附近の海上に於て邦人男の死体漂流し居れるを發見して仁川署に届出でしものありたれば警官出張檢視したる由は既報の通りなるが住所姓名共に不詳にて其後素性を搜査中なりしも何等手掛りなかりしに昨日午前十時頃仁川萬石町高杉醬油製造所雇人高見政次と云へる者仁川署に出頭して訴ふるよう、渡韓後知己となりたる原籍兵庫縣神崎郡東川邊村醬油製造職工當時永登浦大塚醬油製造所雇人高橋卯吉(三七)と云ふが先月の二十六日日本に歸ると稱して旅費金二十圓を所持し永登浦より仁川に來り兼ての馴染なる女が猫島新地二葉に酌婦稼業せると尋ね行きて一二晝夜程遊興し同廿八日飄然として立出でし儘行衛不明となりたれば或は先日の溺死人が當人ならずやとの疑を起し斯くは訴出でしものなりとの事に係警官は其人相着衣等を問ひたるに何れも符合するに付其原因に就て取調中の由なるが右卯吉は前記大塚にて金錢を使ひ込みたる爲め良心の苛責に堪へずして此の仕義及びしものならんと云ふものあれど之れは死罪に就ては深き理由存するならんと尚ほ精探中なりと云ふ

●後家の貸金を横領す

▲彼れ是家への好般鑑

市内某所に住ふ今城なかと云ふ後家さんは小金の少しも蓄めて何不自由なく生活し居れるがなかは憐意の田中常次郎といふ男に現金三百圓を立替ゐしが之が償權取立方を平素なか方に出入する植村俊蔵に委任せし

▲若林草町の溫突に年齢十八九の令嬢風の女が只だ一人で住んで居る何者だか性体が知れぬので近所の者の疑問の燈點になつて居る外出する時などは縮緬幽仙模樣の被布などを着てシナリ〳〵とこれ歩行めさる一つ搜索して御覽なさい蛇度上等種に相違ない(注進子)

▲トテモの事に探つて下されば宜いに、とは嘘早速調べて見ることにしますが只若草町の溫突では嘸かし雲隱び探しものの如な感じが致します(係)▲長谷川町朝鮮日々社の前に高等名刺調製と云ふ招牌を掲げた家がある為高等名刺は頗る秀句だ通行人)▲大和町官舎の奥さんの内で云々の投書は捏造中傷の疑ひあるを以て沒と致します(係)▲國家が保護を與へて成さしむべき事業は多々あるべきも病院などは其の尤なるものであると思ふ然るに此れ等の事業を官營とせずして民間の事業家に放任して置いても立派に發達して行く事業は多く官營若くは官營類似の保護の下に置かるゝのは蓋だ其の當を得ぬ事と思ふ(三考子)▲水道會社の辨疏狀は却つて自己によからぬ行爲ありしことを證據立てられた樣な觀がある曰く〳〵と問よに落ちず語るに落つと理事官の反感は堂々たるものだシツカリ頼みます(内侍)▲花月と掬翠とは實際に於て料理其の他萬事何方が上等なのですか近日僕の郷里から多人數渡韓しますから歓迎會を催したいと思ひます(玉木)▲無粋なる當のでれ聞き申します(玉木)▲無粋なる當欄擔任記者には分明りませんのみならず此れは何れ好き不好きがあるもので正銘な批評と云ふものは六ケ敷いが聞く所に依れば藝者の揃つて居るのは(但し脱は知らぬ容貌の事ですよ)花月だ相ですが少なれ高く居らつしやるとか掬翠は新築家屋の堂々たるを以て勝る藝妓の高く居らつしやることは同樣だ、と云ふが當てには成らぬ結局氣の向いた方へ行でなさい(係)▲とは又韓しますから歓迎會を催したいと思ひます

●新町の健康診斷

一昨八日京城理事廳にて私印私書偽造行使詐偽取財横領罪にて重禁錮二箇月に判決せられたり

●本願寺の女中會

南山本願寺にては去る七月婦人法話會を組織し韓國各地に支部を有し會員既に數千に達したりしが京城支部に於ては曩に少年會を起し毎日曜に數百兒童參集の處今回又女中會なるものを起し毎月十日廿日の兩回に女中を集め婦人としての心得諸般を諭へ一面愛國を去り而も他人に寄食する彼等に幾分の慰安を與へ爲に講話(三)餘興(四)茶菓接待等にして尚廣く女中の入會を希望すと云ふ

●防疫令違犯者

京都府平民當時京城旭町一丁目百六十一番戸の三居留京城郵便局工務係員下村順一(三)は同構内にある井戸を係官より虎疫豫防の爲め封鎖せられしにも拘らず去る九月二十三日禁令を破り密かに該井戸の水を使用したる廉に依り一昨八日南部署より科料處分せられたり

●小泥棒の大縮尻

京城南部紫洞統丘不詳無職李昌植(三)は一昨八日午後八時頃明治町一丁目四十七番戸古物商毛利猪七郎方店先きにある高麗燒四箇を惣に人目を幸ひ攫掻みまんまと首尾よしとい逃走と云ふ所を家人に發見せられ難なく逮捕身柄は南部署に突出されたり

●無理情死未遂か

仁川松阪町居住の猪又政五郎方止宿の青木龜吉(三二)と云ふは敷島遊廓第二朝日樓の抱妓魁と兼て馴染の間柄なりしが一昨夜二尺餘の仕込杖及び六寸餘の合口を所持して同樓に登り不穩の擧動ありしかば花町派出所に引致され設諭の上放還せられたり

●太平町の再清潔

同町衛生組合にては其筋の方針に從ひ一昨八日再清潔法を執行し正午より西部警官は組長後藤太郎帶同各戸の檢査を遂げ同部管内に屬する日本人一百三十戸は何れも檢査終了餘すは同町二丁目及び三丁目即ち南部署管内と銅覗分署管區の小部分なれば其筋の通牒を待て殘余執行の筈なりと云ふ

●貯金通帳を拾ふ

仁川宮町二丁目中上方雇人後藤ミヤは一昨日同所にて羅紗帽子を同町宮木ヨネは同所にて龍洞河野末吉宛

吉田

本町五丁目 三一館判斷

十月十日(日)八月廿六日(三)碧先負癸卯とる△一白 平凡の日なり常務常業の事敢て逢算なし水厄水損長るべし△二黑 地方又は故郷に歸省するは吉其外凶新事見合せたるべし△三碧 厄運なり創始故障凶他郷より音信に接し配慮あり△四綠 平靜の日、交際上衝突を避へべし積日計畫せる事業着手するよろし△五黃 紛擾翻顧起り易し旅行轉住轉職轉業凶△六白 概して不如意の日なりと雖も自信斷行の念あれば禍を轉じて福となす事あり△七赤 疎虞失念の失錯あり殊に負傷又は他人を傷害する導あり△八白 他人と利權を爭ふあり養子の事談吉△九紫 快心の日なり万進んで障りなし集團、婚姻、依賴等整ふ

十月十一日(月)八月廿七日(四)黑佛滅申辰や△一白 金談契約賣買取引等紛擾起ふる△二黑 非運更に要領を得ぬ話た(小僧)▲龍山十五間道路の女理髮店の主婦の亭主と云ふは西大門の○○局へ出て居る判任殿の女房だとか何んでも道樂にやつてるのだとか夫れを知らずに袖褄曳いて私の本夫は高等官よ弾き飛ばされて腰を抜かした奴も少くない相だ(能知生)▲虎疫も既に全滅に近付いたが防疫事務に從事して其の職に殉した官の遺族には吾人在留民は深甚の謝意を表際上又は家庭上禮義を紊るゝなかれ△八白 平穩の日なり常務事業のこと支障なし只業務上に疎漏過誤あるなかれ△九紫 康安の日なり父母又は子孫の身上に關することを謀るには吉日也

▲醫院讓渡希望の御方は電話七二番へ▼

◀平民文庫▶

▲若草町の溫突に年齢十八九の令嬢風の女が只だ一人で住んで居る何者だか性体が知れぬので近所の者の疑問の燈點になつて居る外出する時などは縮緬幽仙模樣の被布などを着てシナリ〳〵とこれ歩行めさる一つ搜索して御覽なさい蛇度上等種に相違ない(注進子)

▲トテモの事に探つて下されば宜いに、とは嘘早速調べて見ることにしますが只若草町の溫突では嘸かし雲隱び探しものの如な感じが致します(係)▲長谷川町朝鮮日々社の前に高等名刺調製と云ふ招牌を掲げた家がある為高等名刺は頗る秀句だ通行人)▲大和町官舎の奥さんの内で云々の投書は捏造中傷の疑ひあるを以て沒と致します(係)▲國家が保護を與へて成さしむべき事業は多々あるべきも病院などは其の尤なるものであると思ふ然るに此れ等の事業を官營とせずして民間の事業家に放任して置いても立派に發達して行く事業は多く官營若くは官營類似の保護の下に置かるゝのは蓋だ其の當を得ぬ事と思ふ(三考子)▲水道會社の辨疏狀は却つて自己によからぬ行爲ありしことを證據立てられた樣な觀がある曰く〳〵と問よに落ちず語るに落つと理事官の反感は堂々たるものだシツカリ頼みます(内侍)▲花月と掬翠とは實際に於て料理其の他萬事何方が上等なのですか近日僕の郷里から多人數渡韓しますから歓迎會を催したいと思ひます(玉木)▲無粋なる當のでれ聞き申します(玉木)▲無粋なる當欄擔任記者には分明りませんのみならず此れは何れ好き不好きがあるもので正銘な批評と云ふものは六ケ敷いが聞く所に依れば藝者の揃つて居るのは(但し脱は知らぬ容貌の事ですよ)花月だ相ですが少なれ高く居らつしやるとか掬翠は新築家屋の堂々たるを以て勝る藝妓の高く居らつしやることは同樣だ、と云ふが當てには成らぬ結局氣の向いた方へ行でなさい(係)▲とは又韓しますから歓迎會を催したいと思ひます

●新町の健康診斷

一昨八日京城理事廳にて私印私書偽造行使詐偽取財横領罪にて重禁錮二箇月に判決せられたり

●本願寺の女中會

南山本願寺にては去る七月婦人法話會を組織し韓國各地に支部を有し會員既に數千に達したりしが京城支部に於ては曩に少年會を起し毎日曜に數百兒童參集の處今回又女中會なるものを起し毎月十日廿日の兩回に女中を集め婦人としての心得諸般を諭へ一面愛國を去り而も他人に寄食する彼等に幾分の慰安を與へ爲に講話(三)餘興(四)茶菓接待等にして尚廣く女中の入會を希望すと云ふ

●防疫令違犯者

京都府平民當時京城旭町一丁目百六十一番戸の三居留京城郵便局工務係員下村順一(三)は同構内にある井戸を係官より虎疫豫防の爲め封鎖せられしにも拘らず去る九月二十三日禁令を破り密かに該井戸の水を使用したる廉に依り一昨八日南部署より科料處分せられたり

●小泥棒の大縮尻

京城南部紫洞統丘不詳無職李昌植(三)は一昨八日午後八時頃明治町一丁目四十七番戸古物商毛利猪七郎方店先きにある高麗燒四箇を惣に人目を幸ひ攫掻みまんまと首尾よしとい逃走と云ふ所を家人に發見せられ難なく逮捕身柄は南部署に突出されたり

●無理情死未遂か

仁川松阪町居住の猪又政五郎方止宿の青木龜吉(三二)と云ふは敷島遊廓第二朝日樓の抱妓魁と兼て馴染の間柄なりしが一昨夜二尺餘の仕込杖及び六寸餘の合口を所持して同樓に登り不穩の擧動ありしかば花町派出所に引致され設諭の上放還せられたり

●太平町の再清潔

同町衛生組合にては其筋の方針に從ひ一昨八日再清潔法を執行し正午より西部警官は組長後藤太郎帶同各戸の檢査を遂げ同部管内に屬する日本人一百三十戸は何れも檢査終了餘すは同町二丁目及び三丁目即ち南部署管内と銅覗分署管區の小部分なれば其筋の通牒を待て殘余執行の筈なりと云ふ

●貯金通帳を拾ふ

仁川宮町二丁目中上方雇人後藤ミヤは一昨日同所にて羅紗帽子を同町宮木ヨネは同所にて龍洞河野末吉宛

●仁川敷島遊廓の檢梅

一昨八日新町遊廓の檢梅を一昨日行はれたるが受檢娼妓の數は七十六名にして内洗濯を要するもの三百六十三圓三十錢とやら何う考へても氣の毒な樣なり

●色餓鬼と消費高

色餓鬼は總計七十二人にして此散財額只だ三百六十三圓三十錢とはいつの不景氣の直るやら

●若草町の溫突

とやら何う考へても氣の毒な樣なり

●仁川敷島の檢梅

一昨八日新町遊廓の檢梅は總計百四十七人なりしが京城樓の笑子は去五日病氣にて死亡せるがそんじよ其處等に誤落脱筋もある可院し休業其他を除き健康者は百四十七人なり

●新町の健康診斷

一昨八日新町遊廓健康診斷所にて行ひしに受診者總數百七十四人にて内夏子、頓子、春香、春人、小蝶の五人は機關部に故障ありて入院し休業其他を除き健康者は百四十七人なりしが京城樓の笑子は去五日病氣にて死亡せるがそんじよ其處等に誤落脱筋もある可

●色餓鬼と消費高

色餓鬼は總計七十二人にして此散財額只だ三百六十三圓三十錢とはいつの不景氣の直るやら

●若草町の溫突

とやら何う考へても氣の毒な樣なり

●仁川敷島の檢梅

一昨八日新町遊廓の檢梅を一昨日行はれたるが受檢娼妓の數は七十六名にして内洗濯を要するもの三百六十三圓三十錢とやら何う考へても氣の毒な樣なり

●仁川敷島の檢梅

一昨八日新町遊廓の檢梅を一昨日行はれたるが受檢娼妓の數は七十六名にして内洗濯を要するもの三百六十三圓三十錢とやら何う考へても氣の毒な樣なり

右は概括的判斷なる各人格別に付ては流接同館の鑑定を請はる可し

●赤十字社の功勞表彰

▲去る九月十五日の書狀及び郵便貯金通帳を拾得して其筋に届出でたりとは感心

▲元海山樓酌婦れきみが小林某と落籍せられ云々の平民文庫掲載の記事は事實相違の廉あり

▲本願寺の女中會

南山本願寺にては去る七月婦人法話會を組織し韓國各地に支部を有し會員既に數千に達したりしが京城支部に於ては曩に少年會を起し毎日曜に數百兒童參集の處今回又女中會なるものを起し毎月十日廿日の兩回に女中を集め婦人としての心得諸般を諭へ一面愛國を去り而も他人に寄食する彼等に幾分の慰安を與へ爲に講話(三)餘興(四)茶菓接待等にして尚廣く女中の入會を希望すと云ふ

●防疫令違犯者

京都府平民當時京城旭町一丁目百六十一番戸の三居留京城郵便局工務係員下村順一(三)は同構内にある井戸を係官より虎疫豫防の爲め封鎖せられしにも拘らず去る九月二十三日禁令を破り密かに該井戸の水を使用したる廉に依り一昨八日南部署より科料處分せられたり

●小泥棒の大縮尻

京城南部紫洞統丘不詳無職李昌植(三)は一昨八日午後八時頃明治町一丁目四十七番戸古物商毛利猪七郎方店先きにある高麗燒四箇を惣に人目を幸ひ攫掻みまんまと首尾よしとい逃走と云ふ所を家人に發見せられ難なく逮捕身柄は南部署に突出されたり

●無理情死未遂か

仁川松阪町居住の猪又政五郎方止宿の青木龜吉(三二)と云ふは敷島遊廓第二朝日樓の抱妓魁と兼て馴染の間柄なりしが一昨夜二尺餘の仕込杖及び六寸餘の合口を所持して同樓に登り不穩の擧動ありしかば花町派出所に引致され設諭の上放還せられたり

●太平町の再清潔

同町衛生組合にては其筋の方針に從ひ一昨八日再清潔法を執行し正午より西部警官は組長後藤太郎帶同各戸の檢査を遂げ同部管内に屬する日本人一百三十戸は何れも檢査終了餘すは同町二丁目及び三丁目即ち南部署管内と銅覗分署管區の小部分なれば其筋の通牒を待て殘余執行の筈なりと云ふ

●貯金通帳を拾ふ

仁川宮町二丁目中上方雇人後藤ミヤは一昨日同所にて羅紗帽子を同町宮木ヨネは同所にて龍洞河野末吉宛

●仁川敷島の檢梅

一昨八日新町遊廓の檢梅は總計百四十七人なりしが京城樓の笑子は去五日病氣にて死亡せるがそんじよ其處等に誤落脱筋もある可院し休業其他を除き健康者は百四十七人なりしが京城樓の笑子は去五日病氣にて死亡せるがそんじよ其處等に誤落脱筋もある可

●色餓鬼と消費高

色餓鬼は總計七十二人にして此散財額只だ三百六十三圓三十錢とやら何う考へても氣の毒な樣なり

●仁川敷島の檢梅

一昨八日新町遊廓の檢梅は總計百四十七人なりしが京城樓の笑子は去五日病氣にて死亡せるがそんじよ其處等に誤落脱筋もある可

●色餓鬼と消費高

色餓鬼は總計七十二人にして此散財額只だ三百六十三圓三十錢とやら何う考へても氣の毒な樣なり

●仁川敷島の檢梅

一昨八日新町遊廓の檢梅は總計百四十七人なりしが京城樓の笑子は去五日病氣にて死亡せるがそんじよ其處等に誤落脱筋もある可

●色餓鬼と消費高

色餓鬼は總計七十二人にして此散財額只だ三百六十三圓三十錢とやら何う考へても氣の毒な樣なり

●仁川敷島の檢梅

一昨八日新町遊廓の檢梅は總計百四十七人なりしが京城樓の笑子は去五日病氣にて死亡せるがそんじよ其處等に誤落脱筋もある可

●色餓鬼と消費高

色餓鬼は總計七十二人にして此散財額只だ三百六十三圓三十錢とやら何う考へても氣の毒な樣なり

●仁川敷島の檢梅

一昨八日新町遊廓の檢梅は總計百四十七人なりしが京城樓の笑子は去五日病氣にて死亡せるがそんじよ其處等に誤落脱筋もある可

●色餓鬼と消費高

色餓鬼は總計七十二人にして此散財額只だ三百六十三圓三十錢とやら何う考へても氣の毒な樣なり

●仁川敷島の檢梅

一昨八日新町遊廓の檢梅は總計百四十七人なりしが京城樓の笑子は去五日病氣にて死亡せるがそんじよ其處等に誤落脱筋もある可

●色餓鬼と消費高

色餓鬼は總計七十二人にして此散財額只だ三百六十三圓三十錢とやら何う考へても氣の毒な樣なり

●仁川敷島の檢梅

一昨八日新町遊廓の檢梅は總計百四十七人なりしが京城樓の笑子は去五日病氣にて死亡せるがそんじよ其處等に誤落脱筋もある可

●色餓鬼と消費高

色餓鬼は總計七十二人にして此散財額只だ三百六十三圓三十錢とやら何う考へても氣の毒な樣なり

●仁川敷島の檢梅

一昨八日新町遊廓の檢梅は總計百四十七人なりしが京城樓の笑子は去五日病氣にて死亡せるがそんじよ其處等に誤落脱筋もある可

●色餓鬼と消費高

色餓鬼は總計七十二人にして此散財額只だ三百六十三圓三十錢とやら何う考へても氣の毒な樣なり

子宮病の治療を誤て居ないか

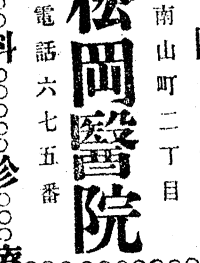
世の多くの婦人は一概に子宮病と云ても其種類は隨分多く從て治療法も種々あるが、一般婦人の自宅治療を見るに甚だ膀手氣儘で、服藥は厭だの、洗濯は面倒だ、さし藥は困ると病原を考へ自己の都合より割出した藥藥を適用せず、爲めに内服藥の必要なる病狀に向て外用藥を用ひ、外用藥の必要に服用藥のみ、用ゆる矛盾の治療をして、子宮病の不治を嘆く婦人の多きは誠に殘念であり、津村順天堂の自宅治療法は、一藥万能主義でなく數十種の加減内服藥と數種の外用藥を以て婦人病の根治を保證するのであるが、今外用藥中將球を使用すべき諸症と同病患者に告白す、幸ひに自己の症狀を考慮して本舗を用ゆれば必ず滿足なる結果を得べし、尚詳細を知らんと欲すれば詳しき容體を記して本舗津村順天堂へ申込れよ、

●中將湯は婦人病一切の内服藥にて中將球は子宮内膜炎とか白帶、赤帶、こしけ、子宮癌撃、子宮炎、子宮加答兒、腟炎、腟加答兒、子宮糜爛、子宮惡臭、子宮搔痒、尿意頻促、月經時の疼痛、麻毒性子宮病等に特効あり、殊に良夫の麻疾に罹り居る時は麻毒菌の爲め心付かざる内に子宮を害する事多ければ常に中將球を使用して本病を豫防せられよ

●不姙症●流産、子宮内膜炎の分秘物及び酸性の粘液は精蟲を害し不姙症を起し子宮の炎症は卵の發育を妨げ姙娠するも流産となる事多ければ中將球を使用して病根を斷つ事肝要なり

●中將湯代價は、百二十個入五圓、四十五個入二圓、二十個入一圓、九個入五十錢、三個入二十錢、又た中將湯は二圓五十錢、一圓六十錢、代價は二圓五十錢、三十錢、十錢等の各種なり

●本舗は東京日本橋通四丁目津村順天堂及び大阪大寶寺町堺筋南入津村順天堂支店にして、販賣所は各地藥店にあり



入院隨意 南山町二丁目 松岡醫院 電話六七五番 各科診療

角商會代理店 前川自轉車店 京城南大門横

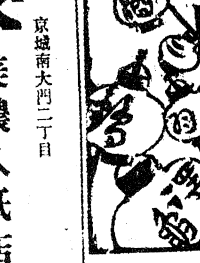
消閑之清遊 京城明治町一丁目 京城碁會 (大和湯隣)

市中之仙境 臨を賜へ

生徒其後專門學研究の爲め獨逸遊學中の處先般歸朝致し來る十月十一日より若草町二丁目元英國人ハリハフアクス氏邸跡(入口三つあり一は若草町一は赤門一は竹園町より)に於て目曜及大祭日を除き毎日午前八時より正午迄一般外科患者及花柳病患者の診療に從事す

診療開始廣告

ドクトル ノデチーキ 和田八千穂 (電話千五十八番)



諸文具類 和洋帳簿 紙

其他雨傘並ニ印入傘御注文 ニ應ス 右精撰安價販賣仕候多少ニ不拘御用命仰付被下度候

京城南大門二丁目

京城相生町(南門湯横) 神戸資生分院 ◎花柳病專門附、痔一般(注射療法) ●入院隨意● 院長 醫學得業士 盧田耕平

京城大和町一丁目 平山牧場 電話一三三

蒸溜乳毒

京城相生町 京城梅毒病院

各種洗濯石鹸 專門製造販賣 用途 陸軍、鐵道、船舶、鑛山、水道湯屋散髪、諸工業用

京城旭町二丁目 (電話九七三番)

朝日石鹸製造所

▲無料紹介欄▼

人事部

遠藤洋服店

●小僧入用　京城大漢門前

●被雇たし　染織學校卒業商業に經驗あり商店を望む京城美洞三十桃十一戸藤岡廣吉

●女中入用　三十才前後の婦人にして裁縫の心得ある人を求む　旭町一　尤町競賣所

●募集　敏腕なる外交員至急入用希望者は直接京城本六滑稽新聞社へ來談あれ

●求職　年四十五種實なる身元保證人あり如何なる職務をも厭はず姓名在社(四五五)

●少年入用　十七八才少年入用　大和町一丁目　爲春堂醫院

●被雇度　病醫院の醫局員として被雇たし　斯道に經驗あり　氏名在社(四四八)

物件部

本町赤門を起點として五間を距らぬ上等韓人建築土地共一坪五圓内外に賣却す望の人來宅あれ　永樂座横　本田

●電話譲渡したし　氏名在社(四四五)

●貸家　若草町一丁目にて官吏會社員向き貸家二軒あり　若草町一ノ二九　矢島

●貸家　南山町二丁目二階建二間溫突外八畳外三間井戸附右今月下旬より貸したし家賃面談　氏名在社(五六四)

●職用銃十號又は十二號　龍山老松町　上田病院

廣告

美術書畫 襖、壁、天井張　京城壽町一丁目　桂萬吉

藥學博士丹波敬三先生發明

消毒 防臭 殺菌劑 クレシン

クレシンハ虎列刺菌、膿窒扶斯菌、實布的里菌等徴菌中最項强ナル徴菌發生ノ抑止殺滅ニ偉大ノ効力ヲ有スル事現時發賣スル他ノ防腐消毒藥中比較スル可キモノナク而モ其價格ハ非常ニ低廉ナレバ惡疫流行ノ兆アル昨今公私衛生上殊ニ必要ノ良劑ナリ

販賣元　東京　合資會社　高田商會銀座販賣店

韓國特約店　京城本町　山岸天佑堂藥房　(電話三百七十二番)

各藥店にて販賣

東京海上運送保險株式會社

明治廿年七月創立　資本金一千萬圓

京城代辯店　本町四　山口呉服店　電話九番

事務所　京城本町二の三　電話一〇六〇番

コレラ病の豫防藥 健胃固腸丸限る 代理店 新井藥房

開業廣告

當會社鋭意業開始の準備中に有之候處工事も略ぼ巻成致し候に付ては愈々來月上旬開業可致候間聊か開業の祝意を表する爲め左の通り實行可仕候に付き瓦斯引用御裏望の御方は此の際至急御申込み被成下度奉願上候

一、十月十五日迄に保證金を添へ申込まれたるものには無料にて瓦斯管の引込をなす但多大の材料を要するものは此限にあらず

一、十月十五日以後に申込まるゝものに對しては相當の引込料を申受くるものとす

一、十月十五日迄に申込まれたるものに對しては本年中瓦斯代金二割引をなす

日韓瓦斯電氣株式會社

鐘路　電話(京)一五二

龍山　電話(龍)三二七

熱誠敏速ニ法律事務ヲ取扱フ

京城旭町一丁目六十七番戸　(紹介ヲ要セズ)

辯護士　岡田榮　(電話三九八番)

辯護士　岩田仙宗

特許代理業者　電話三五四番

京城明治町二丁目(佛國教會前)

開校

明治町三丁目　女生徒募集

シンガーミシン裁縫女學校

▲科目▼

ミシン裁縫　ミシン刺繍　造花

來る十月十一日より授業開始す志望者は九日迄に申込まる可し　規則書入用の方は西小門内　シンガー裁縫機械會社へ

統監府御用　宮内府御用

宮内府御用　博物館御用

精實を旨とし大勉强仕候也

古今美術書畫表装　金銀屏風襖洋式天井張　壽町二丁目

表具師　松月堂　電話千三番

表具　建具　京城壽町(電話一一八七番)　商　石川辰次郎

軸物、表装、金銀屏風、額面、襖、壁張、天井張、雨戸、障子、硝子戸、其他表具、建具一式

◉牛乳　(純良　消毒　檢査濟)

◉韓國畜産株式會社　南大門外(電話八八番)

内外科　産科　小兒科　花柳病　入院隨意　京城旭町一丁目三二六番戸　安東病院　電話七十三番

精實を旨とし大勉强仕候也

宮内府御用　博物館御用

古今美術書畫表装　金銀屏風襖洋式天井張　壽町二丁目

表具師　松月堂　電話千三番

折箱製造元　京城明治町一丁目五十番戸　漢城病院下横(入)　鳥山商店

入院隨意　京城壽町三丁目(電話三七八番)　中島醫院　院主醫學得業士　中島貞信

箱信事

東京　足袋　本店東京　京城大和町一丁目(日の出橋際)　大和屋　藤井出張店　電話二百〇五番

正札付大安賣　厘毛引なし　安心して買へ升

營業科目

日韓印刷株式會社

活版、石版、銅版、各種印刷、帳簿裝釘、書籍製本及ビ印刷、諸材料販賣

遍ク諸材料ノ精撰ヲ計リ期日ノ正確ヲ旨トシ最モ敏活ニ最モ低廉ニ御高需ニ應ジ候間多少ニ不係御注文ノ程希上候

本社　京城明治町三丁目　電話三二三番

出張所　東京麹町區麹町八丁目十九番地　電話番町二九〇番

値上廣告

一清酒一挺に付　金一圓以上

一同一升に付　金五錢

右は冷卸發賣に付値上仕候間倍舊御引立願上候

京城酒商組合

同　各販賣店

特約販賣　自製　漬物　味噌　醤油　製造元

京城本町五丁目

大上商店　(電話一一五一番)

和洋酒、精酒、穀物麺類銘茶、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糧、塩辛、日本食鹽各種特約販賣倘御望に依り商品切手調進仕候

待春日　合ゆく

消毒防臭劑　クレシン　京城本町二丁目　四ケ所洋物店　電話三二一番

日本郵船株式會社　仁川出帆廣告　汽船　貨物及船客取扱店　仁川海岸通　電話三九番　郡回漕店

釜山長崎間定期汽船

●釜山東京　丸　十月二十四日午後三時出帆

●大連、太沽、牛莊行　十月十四日正午時出帆

●大連、大沽、牛莊行　十月十二日午前四時出帆

●大連、大沽、牛莊行　日正午時出帆

●釜山出帆、元山、清津、浦潮行　十月　日午後出帆

易斷觀　相敎授　館主　三二一館　土御門派大陰陽師

東京麹町區麹町八丁目十九番地　京城本町五丁目